

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SANKYO

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 石原 明彦

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 03-5778-7777(代)

平成25年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	104,666	94.6	26,415	279.9	27,423	257.6	21,080	357.5
25年3月期第2四半期	53,782	△24.8	6,952	△41.3	7,668	△44.9	4,607	△31.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 21,626百万円 (433.6%) 25年3月期第2四半期 4,053百万円 (△38.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	225.52	—
25年3月期第2四半期	49.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	471,606	417,522	88.5
25年3月期	464,259	402,918	86.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 417,387百万円 25年3月期 402,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
26年3月期	—	75.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	200,000	92.0	32,000	355.6	34,000	258.3	25,000	327.1	267.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	97,597,500 株	25年3月期	97,597,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	4,124,626 株	25年3月期	4,124,256 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	93,473,078 株	25年3月期2Q	93,473,727 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府による経済・金融緩和政策の効果などを背景に企業収益の改善が進み、景気は緩やかな回復基調にあります。先行きにつきましても、海外景気の下振れ懸念や来春からの消費税増税の影響による不透明さは残るものの、雇用情勢や所得環境、消費マインドなどの本格的な改善が期待されています。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、ファンのプレイ費用抑制傾向が続く中、パチンコの低貸玉営業の定着に加え、パチスロでも低貸メダル営業が増加しております。さらにファン人口の減少により、パチンコの売上は回復には至らず、厳しい状況が続いております。これを受け、パチンコは経費節約志向を一層強め、主要な集客手段であるパチンコ・パチスロの新台購入についても選別の目を厳しくしております。そのため販売市場におきましては、人気シリーズや大型タイトルといった注目が集まる商品には需要が集中する反面、その他の商品は苦戦を強いられており、二極化が進行しております。

このような環境の中、当社グループでは中長期的な販売増加の達成に向け、商品力の強化を柱としたブランド力の回復に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間におきましては、SANKYOブランドの新たな旗艦モデル「フィーバー機動戦士ガンダム」やBistyブランドの主力定番タイトル「エヴァンゲリオン8」といった大型商品が高い人気の獲得に成功しております。

この結果、売上高1,046億円（前年同四半期比94.6%増）、営業利益264億円（同279.9%増）、経常利益274億円（同257.6%増）、四半期純利益210億円（同357.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドでは「フィーバー機動戦士ガンダム」（平成25年4月）を中心に販売いたしました。Bistyブランドでは「蒼天航路」（平成25年5月）と「エヴァンゲリオン8」（平成25年7月）、JBブランドでは「マジカペ」（平成25年5月）、「ゴーストNEO」（平成25年6月）、「すろんこFLOWER」（平成25年8月）をそれぞれ販売いたしました。

この結果、売上高763億円（前年同四半期比155.1%増）、営業利益223億円（同303.3%増）、販売台数210千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドの「パチスロ 創聖のアクエリオンII」（平成25年5月）、「パチスロ ボンバーパワフルII」（平成25年9月）を販売いたしました。

この結果、売上高191億円（前年同四半期比57.9%増）、営業利益69億円（同98.6%増）、販売台数52千台となりました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高85億円（前年同四半期比20.0%減）、営業利益1億円（同54.2%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高5億円（前年同四半期比46.5%減）、営業損失3億円（前年同四半期は1億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,716億円であり、前連結会計年度末と比べ73億円増加しました。これは主に有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が78億円、商品及び製品が65億円、受取手形及び売掛金が28億円それぞれ減少となりましたが、有価証券が149億円、現金及び預金が87億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は540億円であり、前連結会計年度末と比べ72億円減少しております。これは主に未払法人税等が64億円増加となりましたが、支払手形及び買掛金が132億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ146億円増加しました。これは主に配当金の支払い70億円により減少した一方、四半期純利益を210億円計上したことによるものであります。この結果、純資産は4,175億円となり、自己資本比率は1.7ポイント増加し、88.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、下記のとおり連結の範囲の変更はありましたが、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社には該当いたしません。

（連結の範囲の変更）

前連結会計年度において連結子会社であった㈱吉井カントリークラブは、平成25年4月1日付で連結子会社である㈱三共クリエイトを存続会社とした吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,359	129,091
受取手形及び売掛金	44,401	41,580
有価証券	136,993	151,991
商品及び製品	9,039	2,504
仕掛品	300	169
原材料及び貯蔵品	1,338	991
その他	27,113	18,421
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	339,504	344,710
固定資産		
有形固定資産	47,506	47,640
無形固定資産		
のれん	3,215	2,847
その他	351	415
無形固定資産合計	3,567	3,262
投資その他の資産		
投資有価証券	68,344	69,429
その他	5,720	6,947
貸倒引当金	△4	△3
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	73,681	75,993
固定資産合計	124,755	126,896
資産合計	464,259	471,606
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,327	28,087
1年内返済予定の長期借入金	506	—
未払法人税等	1,677	8,158
賞与引当金	821	1,004
その他	8,858	11,234
流動負債合計	53,191	48,486
固定負債		
長期借入金	2,658	—
役員退職慰労引当金	695	728
退職給付引当金	3,641	3,720
資産除去債務	58	58
その他	1,095	1,090
固定負債合計	8,149	5,598
負債合計	61,340	54,084

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	382,726	396,784
自己株式	△20,932	△20,934
株主資本合計	400,513	414,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,405	2,816
その他の包括利益累計額合計	2,405	2,816
少数株主持分	—	134
純資産合計	402,918	417,522
負債純資産合計	464,259	471,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	53,782	104,666
売上原価	26,367	51,999
売上総利益	27,415	52,667
販売費及び一般管理費	20,463	26,251
営業利益	6,952	26,415
営業外収益		
受取利息	546	526
受取配当金	162	228
持分法による投資利益	—	150
その他	167	114
営業外収益合計	876	1,020
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	152	—
為替差損	—	6
その他	5	3
営業外費用合計	161	12
経常利益	7,668	27,423
特別利益		
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産廃棄損	26	49
特別損失合計	26	49
税金等調整前四半期純利益	7,641	27,378
法人税、住民税及び事業税	2,859	8,400
法人税等調整額	174	△2,237
法人税等合計	3,034	6,163
少数株主損益調整前四半期純利益	4,607	21,215
少数株主利益	—	134
四半期純利益	4,607	21,080

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,607	21,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△546	345
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	66
その他の包括利益合計	△553	411
四半期包括利益	4,053	21,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,053	21,492
少数株主に係る四半期包括利益	—	134

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,641	27,378
減価償却費	1,761	1,580
のれん償却額	368	368
引当金の増減額 (△は減少)	331	296
受取利息及び受取配当金	△708	△754
支払利息	3	2
持分法による投資損益 (△は益)	152	△150
売上債権の増減額 (△は増加)	32,233	2,820
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,042	7,017
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,590	△13,239
その他	2,972	11,283
小計	17,207	36,601
利息及び配当金の受取額	757	833
利息の支払額	△1	△53
法人税等の支払額	△12,873	△1,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,089	35,765
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△500
定期預金の払戻による収入	—	5,030
有価証券の取得による支出	—	△5,000
有価証券の償還による収入	—	5,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,365	△1,603
有形及び無形固定資産の売却による収入	30	148
投資有価証券の取得による支出	△16,615	△16,469
投資有価証券の償還による収入	16,000	16,000
貸付金の回収による収入	8	108
その他	△42	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,984	2,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△3,169
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7	△3
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△7,022	△7,022
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,030	△10,196
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,925	28,260
現金及び現金同等物の期首残高	239,591	215,324
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	322	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	229,989	243,585

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,948	12,154	10,710	52,813	969	53,782	—	53,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	29,948	12,154	10,710	52,813	969	53,782	—	53,782
セグメント利益 又は損失(△)	5,532	3,497	435	9,466	△164	9,301	△2,349	6,952

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	76,384	19,189	8,573	104,147	519	104,666	—	104,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	76,384	19,189	8,573	104,147	519	104,666	—	104,666
セグメント利益 又は損失(△)	22,312	6,945	199	29,458	△367	29,090	△2,674	26,415

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。